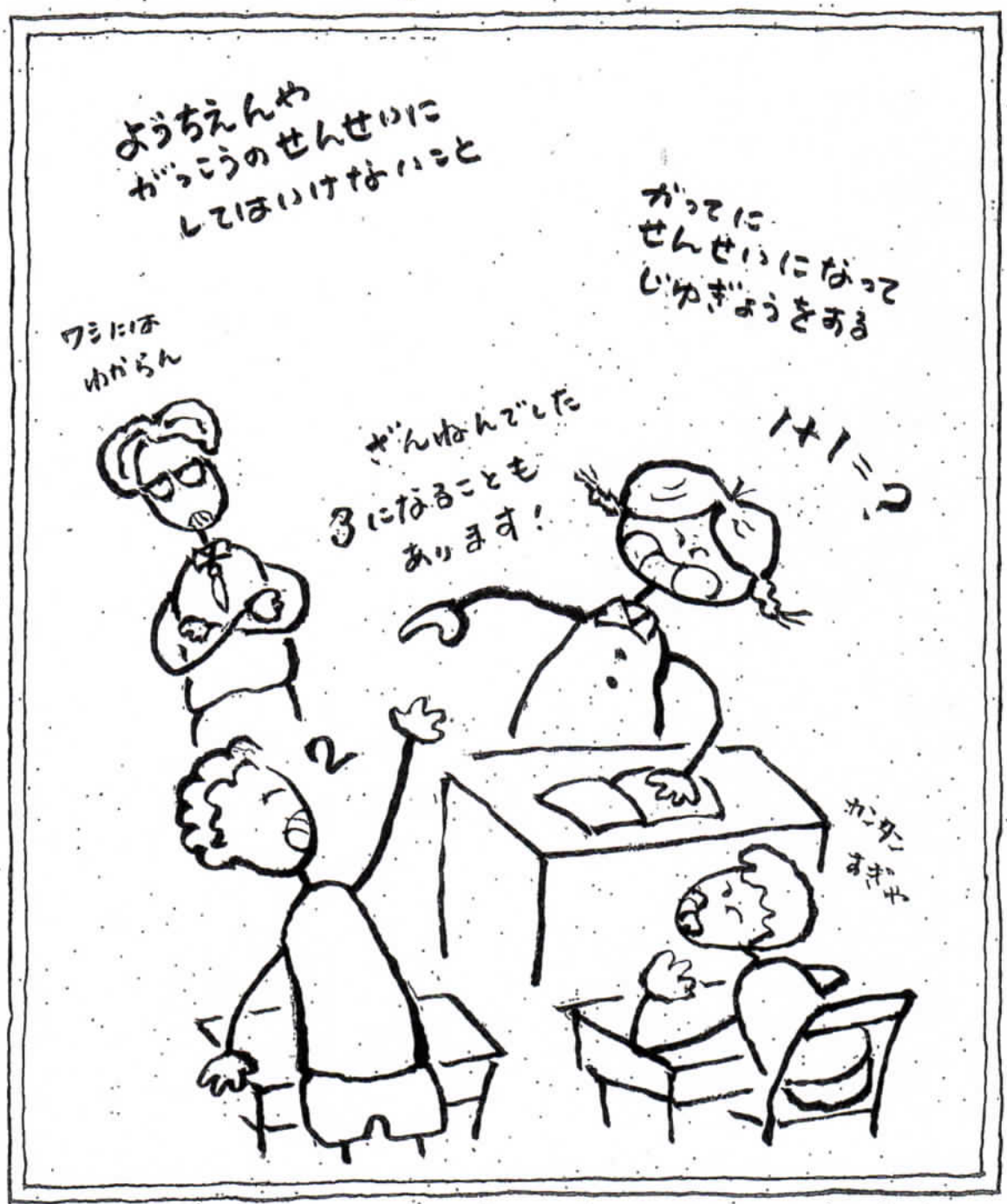
(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

遊便 プレイスクールかうべん

2017 3
(No.427)



アホミイケイミンバン

ようちえんやがっこうのせんせいに してはいけないこと

◎笑っちゃいます!!

・かってにせんせいになってじゅぎょうをする

●ようわかってるやん!!

・たたいたらダメ
・せんせいにキックとかパンチもダメ
・いたずら
・いしをあてる
・おかしをもっていって　がっこうやようちえんのせんせいにすすめる
・スカートをひっぱったらダメ
・おしりをさわる
・めのまえで　おならをしてはいけない
・はなしをきかない
・デブとかケチとかバカとかいう
・かってにおそとにいく
・せいせいのくつに　おはなつくったらあかん
・ばくはつぶつをなげる

次回(じかい)のお題(だい)は

「おまわりさんに してはいけないこと」

おたより まってます （ドクロポストへ）

福岡プレイスクールの子どもたちに聞いた

☆ようちえんやがっこうのせんせいにしてはいけないこと。

◎それはせんせいもおこるだろうね

・かみをひっぱる。
・じゅぎょうをちゅうだんさせる
・わざとおこらせる
・がっこうからでていく
・ごみをなげつける
・だまれば一かという
・せんせいをなぐる
・せんせいのかおにらくがきをする
・せんせいをみてわらう
・せんせいがこまるようなしつもんをする

◎みんながきみをかわいそうとおもうかも？

・うんちをもらす
・おしっこをかける

◎はんにんはだれだ！

・せんせいのさいふをぬすむ
・せんせいのスマホをぬすむ

◎きっといまのたんにんのせんせいはおとこのひとだね

・ずぼんをぬがす
・きゅうしょをける

◎あなたのたんにんはおんなのせんせいかな？

・くそばばあという

注意与えるときは短く単刀直入に

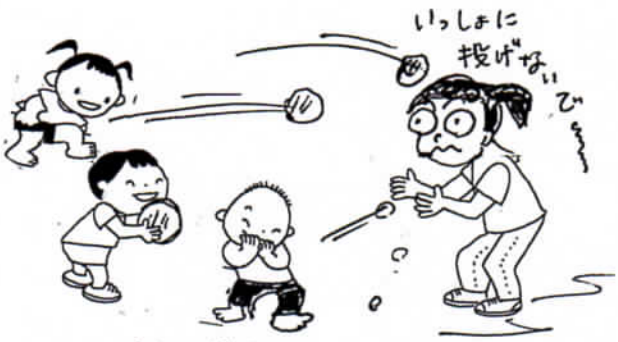
プレイスクールのお迎えの時に、お母さんたち同士で話をされていることがよくあります。そんなとき子どもたちが危ないことをやっていたり、いたずらをしていると、遠くからお母さんが「やめなさい」と言われていることがよくあります。
しかし遠くから「やめなさい」と言っても子供たちはなかなか聞きません。
お母さんもそれほど深く注意しようと思っていないのかもしれませんが、当然子供たちもそれをわかっていて聞き流しています。
プレイスクールでお母さんたちが子どもに注意してるときは、そんなに危険ということはないので、ある意味では「そろそろ帰るからいいかげんやめなさい。」という警告みたいなものです。

それと少し意味が若干違ってくるのですが、子供たちがおこなっていることをやめさせたい場合は、注意することそのものが大切なのではなく、行動をやめさせることが大切だと思うのです。
「何やってるの！そんなとこにのぼっちゃダメ！落ちたら怪我しちゃうでしょう。」など、大きな声で注意をするお母さんたちを公園などで時々見かけます。
母さんたち同士が夢中でおしゃべりをしているとどうしても子供たちに遠くから注意を与える形になります。もしも本当にそのことをやめさせたいならば、おしゃべりを止めて子供のそばに行き、面と向かってきっちりと「やめなさい！」と言わないと子どもたちには通じにくいのです。

そして注意する時はダラダラと長く説明しないで、「〇〇しちゃだめ！」と、単刀直入にわかりやすく説明することが大事だと思います。
まず短く注意して、子どもがその行動やめたあとで、どうしてそんなことをしてはいけないかを、分かりやすく説明してあげるといいと思います。
せっかく子供に注意を与えてるのに注意が長すぎると、肝心の何が言いたいか、何がいけないのかが曖昧になり、子どもに伝わりづらくなってしまいます。
特に危険なときは、すぐに行動をやめさせるために「だめ！」の一言で制止もさせることもあると思います。
そう、注意の言葉は一発で決める方が、効果的なのではないでしょうか。

山本　直幸

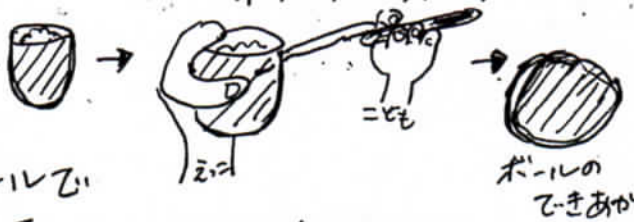
ナースリークラス



～軍手人形と軍手のボール～

この部分を使ってボールや人形の顔、ボディにします。
指の部分は人形の手、足、耳などに使います。

あらかじめ、ミシンで縫った 軍手に綿を入れるのですが、1人で入れるのが難しく、途中で投げだしてしまいます。しかし、大人が少し手助けをして、根気よく教えると、だんだん上達して1人でできる子が3人ほどいました。「小さい方もする㉒」と言って、細い指の中にも綿を入れることにチャレンジ!!! なんせ細いので、難しいのですが、頑張って頑張って、綿入れに挑んでいました。最初は綿入れだけを子ども達がして、針で綿がとびでない様に縫うのは大人がしていたのですが、くり返してプログラムにとり入れていたら、「自分でやりたい!!!」と。なので、針を毛糸針（先がとがってない）にして、自由に縫ってもらうことにしました。しかし、縫って何??? って感じなので、えっこが、針をさして、子ども達が引っぱるという作業をしました。慣れてくると、針を子ども達が進めて、私が、軍手の方を動かすという、手とり足とり作業をして、やっとボールができました。



できあがったボールでキャッチボールをしたり、雨ドイでコースを作ってコロコロところがしっこもしました。また別の日は、細い指先のボールも作って、恐竜のたまごにしたり、軍手に色をつけて、ピンクのたまごにしたりしました。またまた別の日は、フワフワくつ下で作ったのでマシュマロの様なやわらかいボールができて、うれしそうでした。

えっこ

幼児クラス

4月から幼稚園にあがる現ナースリークラスの子ども達が見学にやってきました。みんなに紹介して「やさしくいろいろ教えてあげてね。」とお願いすると「うん、いいよ」との返事。まずは飛ばし棒を使っての紙ひこうきとばしをすることに。紙ひこうきの先に輪ゴムをつけて、そのカで飛ぶのですが、引っぱる方を間違えたり、棒にひっかかったりすると、うまく飛びません。ナースリーの子ども達にやり方を教えていて、その後、別のことをやっていてふと見ると、今度は幼児クラスの子がナースリーの子に飛ばし方を教えてくれていました。その後飛ぶと、「上手やね」とほめてくれる子もいて。ほめられた方は、ものすごーくうれしくてとろけそうになっていました。やさしい場面を見ることができて、こちらまでやさしい気持ちになりました。それからパラシュートとばしをしました。重りの部分をそれぞれに絵を書いてもらい、下に取りつけてまずはすべり台のすべり口あたりから投下。フワリと下に降りていくのを見て、すべり台ですべって取りに行って、また落として。3階の屋上からも試してみたり2階でキャッチしようとしてみたり楽しんでいると、「大変だあー!!」の声。行くと、ナースリーの子のパラシュートが窓のすみ、この方にひっかかってしまい取れなくなってしまったとのこと。その子は悲しい顔に。「大丈夫よ」とお姉さんたちが顔をのぞきこんでなぐさめてくれていました。「そう、ほうき様がいるから大丈夫!」とほうきで取ると「やったー!!」　その後もほうき様は大活躍でひっかかるたんびに、いや、あえてそこに落としている感も…。　次は失敗方が「ほうき借して」と取ってくれて「ありがとう」と言われ、とってもうれしそうでした。　〈よこ〉

月2回クラス

◎1月の4週め．お昼ごはんづくりをしました。メニューは．ごはん．カレー．おみそ汁．たまご料理。お米を研ぐところからスタート！慎重に．そーっと。水加減はとくに何度も見かえして「いいよね？」「大丈夫よね？」と確認し合っていました。玉ねぎは「これ．どうやって切ればいいと？」じゃがいもは「いっぱい切りたい」とみじん切りが山盛りできあがり．「食べる時．みつからんっちゃない？」と言いながら楽しく．ときには涙を流して材料を切っていきました。高学年の男の子はおみそ汁担当。もどしたしいたけを切り．いりこを取りだし．味つけもすべておまかせしました。何度も味見して「うん．最高」と自信満々。目玉焼き．スクランブルエッグ．オムレツ風など．それぞれ好きなように卵を調理して…。さあ「いただきまーす」「うまっ!!」「みそ汁．めっちゃうまい！」と大絶賛。「そうやろ．そうやろ」「ごはんのお水もバッチリだったね」とそっと言ってにっこり。「(カレーの中に)じゃがいも見つけた～！」などと．とても楽しく食べました。みんなで食べるの，ていいですね。

◎2月の1週めは　とばしものを作ろう！とまず．人の形のスチレンボードを2枚貼りか3枚貼りか決めて．そこにビニールテープを巻いてオリジナルの物を作っていきました。6年生の子が「これもうちょっと使っていい？」とダブル使いのブーメラン!?に仕上げていました。それがかっこよく見えたのでしょう。「2個めを作っていい？」とみんなの目がキラッとなりました。この日は新1年生(現幼児クラス)の体験日で．先パイ達がやさしくて．感心しました。できあがったものを持ち．近くの公園にとばしに出かけると．ダブル使いブーメランが必ず木にひっかかり．そのたび大笑い。作って．でかけてと　あわただしくもあっという間の時間でした。

<よっこ>

小学生水曜日クラス　　ちょび

夕食会

２月15日は「パン＆パスタ」の夕食会だった。

それぞれ屋上でボール遊びをしたり、木工室で工作をしたあと４時ぐらいからパン作りをした。

一次発酵させておいたパンの生地に中身の具材は自分で持ってきたものを入れることにしていた。直接学校からプレイスクールに来る子どもいるので、こちらで用意した材料やお友達に分けてもらったりしたものを中に入れて焼く子もいた。

おかずっぽいものでも、甘いものでもパンの中に入れていいことにしていたので、ソーセージ、ベーコン、チーズ、明太子、ジャム、チョコレート等々の具材を持ってきていた。それを一個のパンにおもいっきり詰め込んでいる子や、何個もパンを分け、その中に少しづつ具を意折れる子などそれぞれに個性あるパンを作っていた。中にはソーセージとチョコレートを合体させてパンの中に詰め込んで、食べるときにはソーセージの周りにドロドロのチョコレートでコーティングされている“しょっぱ甘い”パンの子もいた。

パスタは“ミートソース”と“昔懐かしナポリタン”のパスタだった。

さすがに子どもたちはパスタが好きで、パンをそっちのけでパスタをモリモリ食べていて、あとに残ったパンを少しかじって「もうおなかいっぱい」と、持って帰る子も何人かいた。

アイススケート

２月22日はアイススケートに出かけた。このクラスでアイススケートに出かける事は１年に１回ぐらいなので、みんな楽しみにしていた。

なかにはスケートが苦手で「行きたくない」と言っていた子もいたが、間際になると「やっぱり行こうかな？」と言う気になってくれたので、喜んで連れて行った。

水曜日は学年によって下校時間がバラバラで、だいたい集まるのが４時ぐらいなので、この日の集合時間を４時にしていた。

出発時間は第一陣出発４時10分、第二陣出発４時半にした。それに間に合わない子は直接スケート場に行く子もいた。

プレイスクール解散時間が６時45分なのであんまり時間ない。

子どもたちも短い時間の中で充実して遊ぼうと思っているので、楽しい時間を楽しむように急いでスケートリンクへ飛び出していった。

スケートが初めての子も、いざスケート場に着くと一生懸命　氷の上に立ち、一歩ずつたどたどしい足どりで前へ進み、ドスン！とこけたりしていたが、１時間も経つと、なんとなく歩けるようになっていた。（やっぱり子供ってすごいなぁ）

この日は３分の１位をスケート教室で仕切られていたが、ウィークデイでお客さんも少く、楽々滑れて危なくもなく、楽しく滑れた。

初めての子はこけてズボンが濡れたり、ちょっとお尻も痛かったりしたので、少し早めにスケート靴を脱いで、暖房室に入って体を温めたりして遊んでいた。

まだ１、２回しかスケートをしたことがない子もけっこう上手くなり、最後には、４、５年生のお兄ちゃんやお姉ちゃんたちと、ワイワイガヤガヤ楽しく喋りながら滑っていたのだった。

忍者クラブ

風がいーい感じに吹いている日だったので、紙ひこうきと飛ばし棒を作って、まいづる公園にでかけました。まずはこうろ館前の広ーい場所で飛ばしてみることに。「わー、風つよいっっ」そう、風が広場ではまわっていて、方向を間違えると、ぜんっぜん飛ばないのです。「風はどっちから吹いてる？」と人差し指をペロッとなめて風の向きをよもうとするのですが、あっちからもこっちからも吹いてきている気がして、「わからんねー…。」ということで場所を移動!!　途中、いつもの壁のぼりの場所に着き、修業、修業。みんなで登っていると、「あのーうちの子も一緒にいいですか？」と仲間が2人増え、先パイ忍者達に下りてくる場所を教えてほしいと頼むとみんなとってもていねいに説明してくれて、あっという間に仲良くなっていました。その子達と別れ、我々は天守閣へ。と、その前に「木登りの修業!!」としばし木登りタイム。回を重ねるごとに、どう力を入れるか、どこに足をかけると登りやすいかわかってきて、ずいぶん登ったり下りたりが上手になってきました。スゴイ!!　そして天守閣へ上り、ちょうど人が来ないいいスポットがあるので、そこから下めがけて紙ひこうきを「それーっ!!」「おーっ、風にのった～」ビューンと吹く風と共にほんとに**飛んだ～!!**と実感できるほど気持ちよくいってくれました。階段を下りて取りに行き、そしてまた「それ～っ」木のてっぺんの方まで舞い上がったりして大興奮だったのでした。あまりに何度もやったので、「あー、今日チャンバラできんかったー」と時間切れ。来週こそは　<よっこ>

月2回クラス

◎1月の4週め．お昼ごはんづくりをしました。メニューは．ごはん．カレー．おみそ汁．たまご料理。お米を研ぐところからスタート！慎重に．そーっと。水加減はとくに何度も見かえして「いいよね？」「大丈夫よね？」と確認し合っていました。玉ねぎは「これ．どうやって切れればいいと？」じゃがいもは「いっぱい切りたい」とみじん切りが山盛りできあがり．「食べる時．みつからんっちゃない？」と言いながら楽しく．ときには涙を流して材料を切っていきました。高学年の男の子はおみそ汁担当。もどしたいたけを切り．いりこを取りだし．味つけもすべておまかせしました。何度も味見して「うん．最高」と自信満々。目玉焼き．スクランブルエッグ．オムレツ風など．それぞれ好きなように卵を調理して…。さあ「いただきまーす」「うまっ!!」「みそ汁．めっちゃうまい！」と大絶賛。「そうやろ．そうやろ」「ごはんのお水もバッチリだったね」とそっと言ってにっこり。「(カレーの中に)じゃがいも見つけた～！」などと．とても楽しく食べました。みんなで食べるの，ていいですね。

◎2月の1週めは　とばしものを作ろう！とまず．人の形のスチレンボードを2枚貼りか3枚貼りか決めて．そこにビニールテープを巻いてオリジナルの物を作っていきました。6年生の子が「これ．もうちょっと使っていい？」とダブル使いのブーメラン!?に仕上げていました。それがかっこよく見えたのでしょう。「2個めを作っていい？」とみんなの目がキラッとなりました。この日は新1年生(現幼児クラス)の体験日で．先パイ達がやさしくて．感心しました。できあがったものを持ち．近くの公園にとばしに出かけると．ダブル使いブーメランが必ず木にひっかかり．そのたび大笑い。作って．でかけてとあわただしくもあっという間の時間でした。

<よっこ>

自転車クラブ

ちょび

１月から３年生からも入れるようになった自転車クラブ。

今まで入っていた子は少し遠くまで走りたかったり、もう少しスピードを出したかったりでちょっと不満もあるようだが、今は新人の子に合わせて走りを見ながら少しずつ距離を伸ばしたり、スピードもまだまだノロノロだったりしているが、ちょっとだけきついコースを行くように心がけて走るようにしている。

前々回は博多区のパピオアイススケート場まで自転車で行った。

以前は天神をつっきって博多区の千代まで行っていたが、一昨年ぐらいから歩車分離の信号機がついたため、片道 50 分ぐらいかかったこともあったので、ちょっと遠回りだが昨年から郵便本局前の昭和通りを通っていくことにした。（ここのコースは歩車分離が少ないので、20 分ぐらい短縮できる）この日もスムースにいくことができた。スケート場ではちょっとお客さんはおおかったものの、楽しく１時間半ぐらいを滑って、疲れた足でまた自転車で帰ってきたのだった。

先週は近場ではあるが、動物園横の南公園に行くことにした。

出発前に新聞紙でまずちゃんばらを作った。固く巻いた新聞紙にビニルテープで補強してカラフルな“ちゃんばら”を作り、それを持って出かけることにした。

浄水通りを通ると比較的簡単に南公園に着くのだが、あえてちょっときつい桜坂から桜坂山の手通り（山の上ホテル側）の方コースを選び、きつい坂を上って行くことにした。

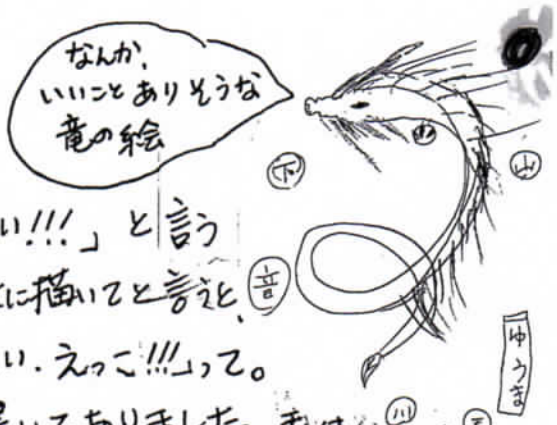
ところがこのとき　たまたまその日から入った新人の女の子もいた。（ウワーどうしよう？今日のコースはちょっときついかな？と思ったが）その子はちょっと根性もある子だったので、「きつくなったら無理して自転車に乗って上がらなくていいからね。いっしょにぼちぼち押して上がろう。」ということで出発した。

するとどうだろう、今までの自転車クラブのメンバーが“心臓破りの坂”と言っているその坂を、新人の子たちは、３，４回は停まって少し押して歩いたものの、また自転車に乗り、ペダルをこいで再チャレンジ。がんばって頂上までたどり着いたのだ。（これから期待を持てそう）

そのあとは南公園で二手に分かれてちゃんばらごっこや警ドロをした。

南公園は林や坂など土の所が多いので手頃に隠れたり、走り回れたりするので、ちゃんばらごっこなどにはもってこい場所で、今回も思いっきり走り回って遊んで帰ってきたのだった。

工作クラブ



「今度の工作クラブで紙ねん土したい!!!」と言うので「どんな物が作りたいか、紙に描いてと言うと、子ども達は楽しそうに描いて、「はい、えっこ!!!」って。その、紙には"ねんどがしたいです"と書いてありました。私は、作りたい内容を聞きたかったのですが……言葉は難しいと…思いつにが笑いしました。

次の週、みんなに紙粘土を渡して、「何んでもいいよ。好きな様に作って。」と言うと、すぐに手が動く子はひらめいた顔つきでどんどん作っていきます。しかし、何でもいいよのテーマで、困っている子もいたので、プリンカップや、ビーズ、タイル、わりばし、竹ぐし、つまようじ、などを並べて、粘土をさわっている内に、何かひらめくよ!!とアドバイスをすると、みんなは、「きめた☺」と言って、作りはじめました。作りながら、工夫して、改善して、それぞれに、自慢の作品ができた様です。「絵の具で色をぬろう。」とはりきっている子ども達に粘土が乾いた、次週の方がいいと言うと、「何で?」って。そういわれれば、何んでだろう? せっかく作った形がくずれるし、乾きにくいし紙粘土の表面が少しとけて、絵の具とまざるので色が変る……と…。でも、そのくらいの事は、プレイスクールの工作クラブの子ども達にとってはたいした事ないな…と思い、絵の具をぬるタイミングは、みんなにまかせることにしました。せんせん乾いてない粘土の色ぬりは、なかなか難しくっておもしろい。みんな真けんに……かつニヤニヤもしながら筆を動かしていました。中には、色はつけない派の子もいて、ビーズや、タイルの色をめだたせていました。

作業をしている時は、集中していて、めずらしく、静かで、その静かさに気付いた子ども達が、「うわぁ、しずか…学校みたい!!」って言ったので、大笑いになりました。楽しい、紙粘土工作でしたよ。

えっこ

スポーツクラブ

けんた

今月も外は肌寒かったけれども、雨が降ることも無く、外で元気に活動することが出来た。２月３月と、受験が終わった卒業生が遊びに来ることが増えてきて、スポーツクラブに参加することがあるので、子ども達にとってもいい刺激のなっているようだ。

２月 18 日は、高校生と中学生の卒業生が来ていて皆と一緒に遊んでくれた。

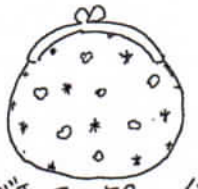
この日も赤坂公園に行った。公園に着いたら、寒いのもおかまいなしに上着を脱いで、自由に練習をした。中には半そでになって、元気さのアピールをしてくる子もいる…まったく、とほほって感じだ。

それぞれ遊んで体を温めた後にドッヂボールをした。野球をする時間も考えて、１５分で区切って試合を行ったが、時間ギリギリまで決着が着かなかった。
試合の途中から卒業生がボールを取った時に、同じチームの一人が「ボールちょうだい」と言いだすと、周りの人も言うので、卒業生も困ってゲームも止まる。時間短縮の為　誰がボールをもらうかじゃんけんで決めていた。
試合は、残り時間ギリギリで最後の一人を当てたチームが勝って終わった。なかなかの熱戦だったので、もう少し続けたいが、野球の時間が少なくなるのは、みんな嫌なので、ゲームセットにした。

終わってから水分補給をした後、すぐに野球をした。
野球は、３回まで０対０の均衡した試合だった。どちらのチームも３塁までランナーが進む場面もがあったり、満塁になったり、得点できそうな場面が何度かあったが、両チームともに得点を許さず（守備もよかった）４回にヒットを繋げて１点を取ったチームが逃げ切って勝った。
いつもは、最終回になると　なぜか最終回の時だけ打線が繋がり、帰る時間のぎりぎりまで試合をして、途中で時間が足りなくなり　終了しなければならない時もままあるが、（そんな時は　少しフラストレーションがのこる）この日は　都合よくいいタイミングで終わったので、帰る前に少し自由に公園で遊ぶことが出来てよかった。

《子ども達の作品》

タッセルのチョーカー



がまロポーチ

手芸クラブ

久しぶりに、顔ぶれがそろっての活動の時、雑誌作りの話しがでました。だんだんと、どんなことをするのか見えてきたので、パソコンの中で編集をすることにしました。編集部員たちは、子ども達なので、あれやこれや自分たちで考えながら、それぞれに役割分担では、モデルをしたい人、ヘアースタイリストをしたい人、写真を取りたい人、編集をしたい人、などの希望を聞いて作っていました。パソコンの使い方がわからないところが多くて、なかなか悪戦苦闘していますが、すこしずつ進んでいます。

この日の手芸は、アクセサリーやストラップ作りをしようと、レザーひもを何色かそろえていました。いろいろ試していくと、三つ編みで作ったチョーカーができて、これは「雑誌に載せよう」と言って、さっそく身につけて写真取りになりました。こんな感じで、自分たちで作った手芸アクセサリーも雑誌作りの一環になっているとは、さすが！

手芸も一段落して、パソコンやカメラは同時に何人も使えるわけではないので、ひまになった子たちが体を使って遊びたくてうずうずしていたので、部屋の半分はマットやブランコで遊べるようにしました。女の子たちなので、料理も大好きです。おやつ作りも、子ども達が作りました。

次の回の手芸は、がまぐちのポーチ作りをしました。はじめはミシンで作るつもりでしたが、久しぶりに手縫いもいいかなと思い、裁縫道具を出して、それぞれ好きな柄の布を選び裁断も自分でするので、時間はかかりました。縫い方も細かい目で縫うとけっこう時間がかかるので、一回では仕上げられなかった子もいましたが、また時間を見つけて作れたらいいなあ。と思います。

前回はポーチ作りで、雑誌の編集はできなかったので、パソコンを出して、少し進めることになりました。そうと決まると出てくる持ちよりの髪飾りや、参考にしている雑誌があり、それをみながら、こんな髪型にしてみない？とか、背景はどうする？とか、雑誌に載せるためにヘアースタイルは？たくさんの持ちよりの髪飾りで色々コーディネートを考えて、写真を取る場所やポーズも雑誌のモデルっぽくなるように、なによりも楽しんでやっていました。　　たみ

子どもっておもしろい!!

ひとりじゃないって

お迎えを待つ夕刻、晴れ渡った空が少しずつ夕焼けに染まろうとしていた。空を見上げていたその子は大発見したかのような声を上げた。

「フーチン、あれって飛行機？　宇宙船とかとちゃうやんなぁ？」

指さす先にはオレンジ色に輝くペンシル状の物体が悠然と飛んでいる。

「あぁあれな、あれは葉巻型ＵＦＯや！　オレが呼んどいてん！　オレってすごくない？」

飛んでいたのはもちろん飛行機で、角度によって羽根が見えなかっただけなのだけれど、夕陽にきらめきながら空に浮かぶ様子は宇宙船といってもいいくらいの不思議な感じだった。

先日、米航空宇宙局NASAなどの国際チームが地球に似た惑星を発見したというニュースが世界を駆け巡った。地球からみずがめ座の方角に39光年離れたTRAPPIST1を周る７つの惑星の大きさや重さ、温度が地球に近く、水や大気が存在して生命を育むことのできる地球型惑星の可能性があるという。もちろん環境的にハビタブルゾーン（生命棲息可能域）である可能性があるというだけで、火星型宇宙人やバルタン星人、デスラー総統がいるわけではない。しかし、今後の調査で水や酸素、メタンなどが同時に見つかると地球外生命の存在の可能性が高まるという。

実は今回のこのニュースのすごさは、宇宙の中では比較的近い距離（といっても光の速度で片道39年かかるけど…）に生命が存在する惑星がいきなり７つも見つかったということ、つまり宇宙全体でみるとかなりの星に生命体がいるかも知れないということなのだ。もう人類は宇宙でひとりぼっちの存在ではないということだ。もちろんその生命体と友だちになれるのか、けんかすることになるのかはまだわからないけれど、それでも見上げた星空の先に希望は感じられる。個人的にはできればイスカンダル星のように放射能除去装置を貸してくれるところがあればいいのにと思ったりする。

「ＵＦＯ、もうじきこっち来るで！」　「え～っ！　ここ来んのん？」

「ちょっと乗ってみる？　家まで送ったろか？」

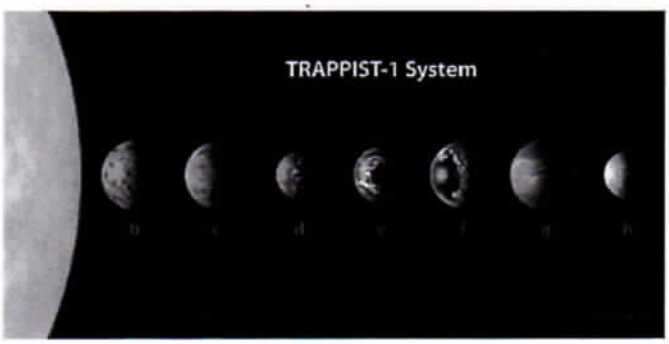
「えっえっえ～っ！　いやや～っ！　宇宙人、宇宙人が来る～っ！」

宇宙人の襲来に恐れをなして走り回るその子を見ながらお母さんがポツリ

「私にとってはあんたが宇宙人やわ！　ホンマなに考えてるのかわからへんし…」

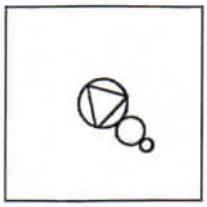
すでにコンタクトがあったとは…遠くの星より我が家のＥＴ！

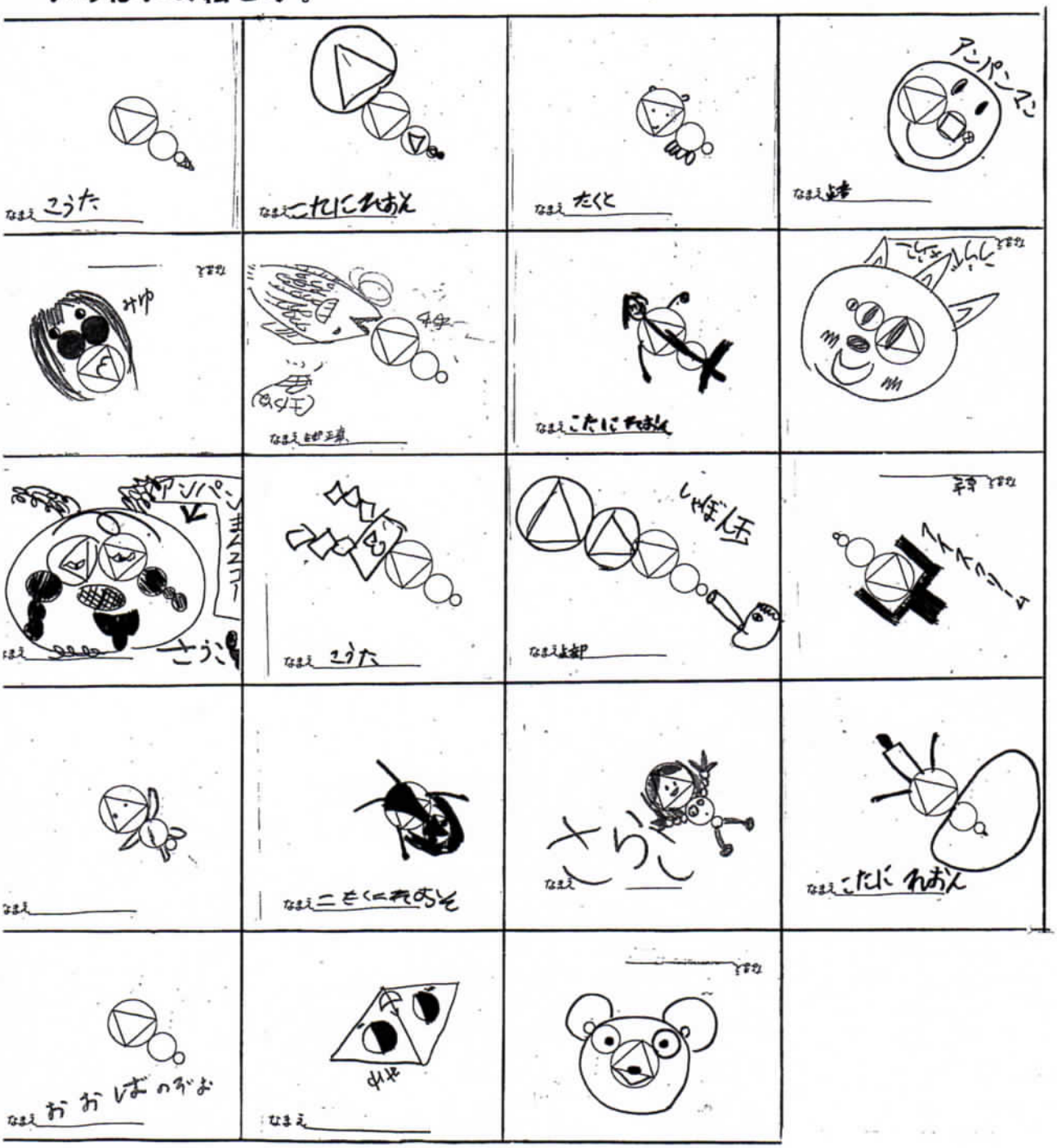
（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）



イメージカードコーナー

今回のイメージポイントは



←これです。さてどんなところに使ってるなか？

子どもたちのアイディアがいっぱいの絵です。